



※※2007年12月改訂（第5版）
※2007年5月改訂

日本標準商品分類番号
873311

貯法：室温保存
使用期限：容器、外箱に表示の使用
期限内に使用すること

日本薬局方

※※承認番号 21900AMX01665
薬価収載 1994年7月
販売開始 1994年7月

処方箋医薬品
(注意—医師等の処方箋
により使用すること)

10%塩化ナトリウム注射液

10% Sodium Chloride Injection

※※塩化ナトリウム注10%「フソー」

【組成・性状】※※

1. 組成

塩化ナトリウム注10%「フソー」は1ポリアル（プラスチックアンプル）20mL中塩化ナトリウム2gを含む無色澄明の水溶性注射液である。

【電解質濃度】

Na ⁺	Cl ⁻
1.71	1.71

(mEq/mL：理論値)

2. 製剤の性状

塩化ナトリウム注10%「フソー」はポリアル（ポリエチレン製容器）入りの無色澄明の水溶性注射液で、塩味がある。

pH：5.0～7.0

浸透圧比：10.6～11.6

【効能・効果】

ナトリウム欠乏時の電解質補給

【用法・用量】

電解質補給の目的で、輸液剤などに添加して必要量を静脈内注射又は点滴静注する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 心臓、循環器系機能障害のある患者 [塩化ナトリウムを負荷することから心臓に負担をかけ、症状が悪化するおそれがある。]
- (2) 腎障害のある患者 [塩化ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
大量投与	高ナトリウム血症、うっ血性心不全、浮腫

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

- (1) 調製方法：本剤は希釈することなしに単独で使用しないこと。
- (2) 投与前：
 - 1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること（患者の皮膚や器具消毒）。
 - 2) 開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

【薬効薬理】

塩化ナトリウムは血清の無機成分の90%以上を占め、細胞外液の浸透圧の維持に係る主要な因子となっている^{1,2)}。

正常には血清Na⁺濃度は下垂体—副腎系、容積受容体や腎により微妙にコントロールされているが、副腎機能不全、塩類喪失性腎炎、あるいは利尿剤の投与などによって低Na血症が起こる³⁾。

本剤はこれらの水中毒、低塩症候群等の低Na血症時の電解質補給の目的で、輸液剤などに添加して用いる高張の塩化ナトリウム液である⁴⁾。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：塩化ナトリウム

化学名：sodium chloride

分子式：NaCl

分子量：58.44

性状：無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。水に溶けやすく、エタノール(99.5)にほとんど溶けない。

【包装】

20mL 10ポリアル（スノーブル）

50ポリアル（スノーブル）

スノーブル：頭部を軽く捻るだけで簡単に開封できるポリエチレン製のアンプルである。

【主要文献及び文献請求先】

- 1) The United States Dispensatory, 27th ed., 1050 (1973)
- 2) Martindale: The Extra Pharmacopoeia, 29th ed., 1039 (1989)
- 3) Drill's Pharmacology in Medicine, 4th ed., 883 (1971)
- 4) 北岡建樹 ほか, Geriat.Med., 12, 769 (1974)

※【文献請求先】 扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 学術部門
〒536-8523 大阪市城東区森之宮二丁目3番30号
TEL06-6964-2763 FAX06-6964-2706
(9:00～17:30/土日祝日を除く)

製造販売元



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

SK-915-915C